



学校だより第11号

令和8年2月27日

発行

大阪市立大開小学校

結果よりも大切な「プロセス」

梅の花が綺麗に咲く季節となりました。先日行いました今年度最後の学習参観・懇談会には、大変お忙しい中、多数の保護者の皆様にご来校いただきまして、ありがとうございました。早いもので、明後日から3月です。花粉症の症状が出始めている児童や、風邪様疾患等もありますので、健康には十分注意してまいります。



学校だより第10号で、「2026年冬季オリンピック」について触れさせていただきましたが、テレビ等で観戦されましたでしょうか。

日本とは時差があり、録画を見るが多かったのですが、雪上の華麗な滑りや氷上の熱い戦いととも、選手の方々へのインタビューが心に残りました。

オリンピックの舞台に立つ選手の方々、日本を代表して世界の方々と競い合います。小学生の頃から練習を積み重ねてきた選手や試合直前になって怪我をして十分な練習ができなかった選手、試合当日に失敗をしてしまった選手等、オリンピックに出場した選手全員がメダルを手にするわけではありません。しかし、選手の方々が共通して口にするのは「あきらめずに続けてきてよかった」という言葉でした。目標に向かって努力し、失敗しても立ち上がり最後までやり遂げる姿を子どもたちに見せてくれたと思います。

また、一人一人の選手の後ろには、どんな時も彼らを信じ、支え続けた家族の姿がありました。思うように成果が出ず、悩み苦しんでいる時に家族やコーチからかけられた言葉や行動、それらが力になってつらい時を乗り越えることができたと話しておられました。子どもたちが新しいことに挑戦しようとする時、最も力になるのは、結果への評価ではなく、「頑張っているね」と、そのプロセスをしっかりと見届けることだと思います。

年度末を迎え、私たち教職員は、この1年、大きく成長した子どもたち一人一人と向き合うことができたことを何よりも嬉しく思っています。保護者の皆様も、お子様の頑張りやよさを多く見てこられたことと思います。進級や卒業という大きな節目の時期は、期待と不安が入り混じった、少し不安定な時です。「昨日の自分」と比べてできるようになったことや苦手な問題に挑戦した等、小さな積み重ねが自信につながっていくと思います。子どもたちが自分のよさに気づき、自信をもって前を向いて進んでいくことができますよう、引き続き、ご協力よろしくお願いたします。